土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

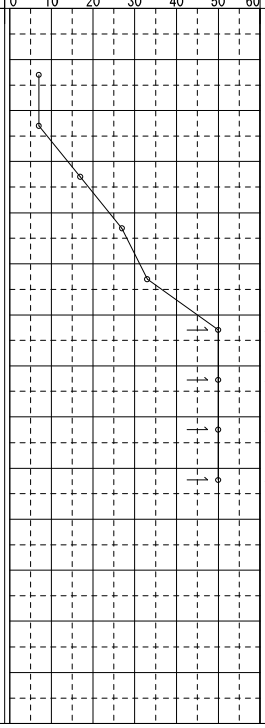
事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor No.2-西ノ谷川支川切土部	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 19.1002″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年11月27日～ 令和2年11月30日	東経	132° 33′ 28.9301″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	TP 161.25m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	9.00m	地盤勾配	23° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D / エンジン：ヤンマーTF90M / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3	158.25	3.00		粘土混じり砂		褐灰	rd2		細～中砂を主体とする 木根を混入する 粗砂状の小礫を混入する 径1cm以下の風化礫を混入する GL-2.0m付近から岩盤の強風化土状	
3 4 5 6	155.25	6.00		花崗岩		褐灰			DL級岩盤 風化が著しく進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変質、変色している 部分的に長石類は細粒土化する 石英、長石粒が残存する	
6 7 8 9	152.25	9.00		花崗岩		褐灰			DM級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変色している 長石類は白濁化している 石英・長石が径1cm以下に細礫化し残存する	
10 11 12 13 14										

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	2	2	3	7/300		
	1.45						
7	2.15	2	2	3	7/300		
	2.45						
17	3.15	4	5	8	17/300		
	3.45						
27	4.15	7	10	10	27/300		
	4.45						
33	5.15	7	11	15	33/300		
	5.45						
50以上	6.15	10	15	25/90	50/290	290	
	6.44						
50以上	7.15	18	21	11/50	50/250	250	
	7.40						
50以上	8.15	21	29/90		50/190	190	
	8.34						
50以上	9.15	28	22/60		50/160	160	
	9.31						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				11/27
				11/28